

活力あふれる未来づくり。 一人ひとりの声を反映させて。



ごあいさつ
川南町長
河野 寛一

二〇〇三年は、本町が町制を施行して五十周年を迎える記念すべき年であります。この五十年を顧みると、今更ながら、こんにちまで町政発展のためご尽力されました先輩諸氏並びに町民の皆様のご熱意とご協力に深い敬意を表するものであります。

私たちは今、少子高齢化、高度情報化、かつて先人の経験したものと異なった様々な厳しい試練に直面しておりますが、この試練を乗り越えて、明日の川南町の進むべき道を切り開いていく事こそ、現代に生きるものの責務であると考えます。「住みやすい」「誇りの持てる」「元氣のある」町とは、そこに住む一人ひとりにとっては、どういうものなのでしょう。そして、どう実現していけばいいのでしょうか。そんな一つひとつの声に耳を傾けることを基本に、個性化、多様化する行

ますます見通しのきかない
混乱の現代。長引く不況は人の
価値観を揺さぶり、情報化
の波はライフスタイルに変革
をもたらそうとしています。少
子高齢化への移行もかわる
人の意識を大きく変えました。
こうした時代にあっても、さ
らに目まぐるしく時代が変わ
ろうと、私たち行政の原点は「町
民が幸せに暮らしている地域
づくり」につきると考えます。
国際化、高齢化、高度情報化
といった、時代の風さえもうま
くとらえ、何よりも町民の暮
らしに歩調を合わせながら、活
力と魅力に満ちた川南を目指
します。

そこには、町民の参加と協力が
欠かせません。未来づくりの
主役は、いつの時代も町民一人
ひとりなのですから。
そうした町民の代表として
選ばれた町議会議員は、当然、
住民の声を肌で感じながら、議
会に反映できるよう努めてい
ます。町の予算、決算、施策、
条例制定など、本当に「住みや
すく」「誇れる」「元氣の出る」
川南をつくるために、行政と連
携しながら…。
そして、だれもがフロンティア
スピリットの発揮しやすい
町でいられるよう、柔軟で効率
的な町政運営を推進してい
きます。

政ニーズに対応し、開かれた行政を目指して行かなくてはなりません。

この町制施行五十周年の記念すべき年を新たなスタートと考え、「ニューフロンティア精神の町づくり」を進めます。恵まれた自然環境、風土、特性を次代に引き継ぎ、親・子・孫三世代が、ゆとりと豊かさを実現できるよう「生まれて育つたこと」に誇りを持つるまち川南を築いていきます。そのためには、町民一人ひとりの協力と参加のもと、生活環境の整備、産業の振興、福祉の充実、教育文化の向上に全力で取り組まなければなりません。

二十一世紀における更なる飛躍を目指して、地域の特性を生かした各種施策を積極的に展開し、町民の皆様と行政が一体となった取り組みを致してまいります。